

B 24

2988





緒言

凡ソ教育ノ要ハ德育智育體育ノ三
者ニ在リ而シテ小學ニ在リテハ最
モ重要ナルヲ涵養スルヲ以テ要ト
スヘシ今夫レ音樂ノ物タル性情ニ
本ツキ人心ヲ正シ風化ヲ助クルノ
妙用アリ故ニ古ヨリ明君賢相特ニ
之ヲ振興シ之ヲ家國ニ播サント欲
セシ者和漢歐米ハ史冊歷々徴スヘ
シ曩ニ我政府ノ始テ學制ヲ頒ツニ
方リテヤ已ニ唱歌ヲ普通學科中ニ

掲ケテ一般必須ノ科タルヲ示シ其
教則綱領ヲ定ムルニ至テハ亦之ヲ
小學各等科ニ加ヘテ其必ス學ハサ
ル可ラサルヲ示セリ然シテ之ヲ學
校ニ實施スルニ及ニテハ必ス歌曲
其當ヲ得聲音其正ヲ得テ能ク教育
ノ真理ニ悖ラサルヲ要スレハ此レ
其事タル固ヨリ容易ニ舉行スヘキ
ニ非ス我省此ニ見ル所アリ客年特
ニ音樂取調掛ヲ設ケ充ルニ本邦ノ
學士音樂家等ヲ以テシ且ツ遠ク米

國有名ノ音樂教師ヲ聘シ百方討究
論悉シ本邦固有ノ音律ニ基ツキ彼
長ヲ取り我短ヲ補ヒ以テ我學校ニ
適用スヘキ者ヲ撰定セシム爾後諸
員ノ協力ニ頼リ稍ヤク數曲ヲ得之
ヲ東京師範學校及東京女子師範學
校生徒并兩校附屬小學生徒ニ施シ
テ其適否ヲ試シ更ニ取捨選擇シ得
ル所ニ隨テ之ヲ録シ遂ニ歌曲數十
ノ多キニ至レリ爰ニ之ヲ剞劂ニ付
シ名ケテ小學唱歌集ト云是レ固ヨ

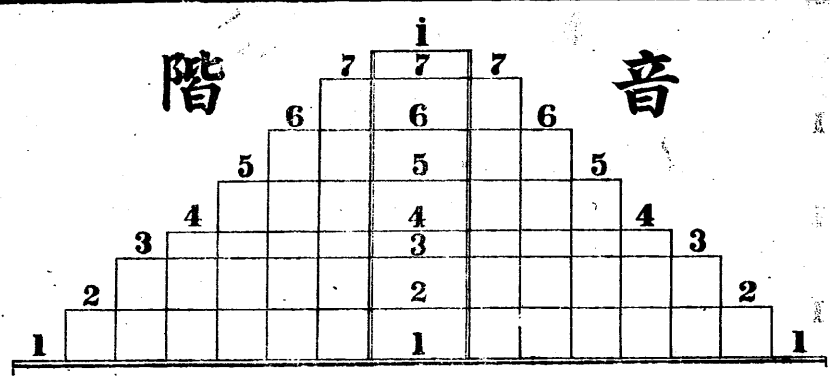
リ草創ニ属スルヲ以テ或ハ未タ完
 全ナラサル者アラント雖モ庶幾ク
 ハ亦我教育進歩ノ一助ニ資スルニ
 足ラント云爾

明治十四年十月

音樂取調掛長

伊澤修二謹識

階音



習練階音

- 一 1 2 2 1 一
- 二 1 2 3 3 2 1 一
- 三 1 2 3 4 4 3 2 1 一
- 四 1 2 3 4 5 5 4 3 2 1 一
- 五 1 2 3 4 5 6 6 5 4 3 2 1 一
- 六 1 2 3 4 5 6 7 i i 7 6 5 4 3 2 1 一

7 八
 6 一
 5 卜
 4 へ
 3 ホ
 2 二
 1 八

$\frac{1}{2}$
 $\frac{1}{4}$

1, 2, 3 | 1, 2, 3 | 3, 2, 1 | 3, 2, 1 | 1, 3, 2 | 1, 3, 2 | 2, 3, 1 | 2, 3, 1 ||

1, 3, 5 | 1, 3, 5 | 1, 4, 6 | 1, 4, 6 | 6, 4, 1 | 6, 4, 1 | 5, 3, 1 | 5, 3, 1 ||

[師] [生] [師] [生]

1, 2, 3 — | 1, 2, 3 — | 3, 2, 1 — | 3, 2, 1 — |

1, 3, 2 — | 1, 3, 2 — | 2, 3, 1 — | 2, 3, 1 — |

1, 3, 5 — | 1, 3, 5 — | 5, 3, 1 — | 5, 3, 1 — |

1, 4, 6 — | 1, 4, 6 — | 6, 4, 1 — | 6, 4, 1 — |

[師] [生]

1, 3, 5, 5 | 1, 3, 5 — | 1, 3, 5, 5 | 1, 3, 5 — |

5, 3, 1, 3 | 5, 3, 1 — | 5, 3, 1, 3 | 5, 3, 1 — |

第一 かをれ

1 方 多 じ れ ニ ホ へ ツ ノ ラ ラ サ ク 多
 2 ど ま れ や ど ね ち ぐ き の 不 た る

3 幸 幸 幸 ナ ビ ケ ラ ハ 多 ラ ス ス キ
 4 な け よ た て よ の は せ の ち ど 王

5 六 ル ヤ マ ニ タ ツ カ ス ミ
 ア キ ヤ マ ニ ワ タ カ キ リ

6 サ ラ シ ニ モ モ ミ チ ニ モ
 キ ス キ ス モ ル コ コ チ シ テ

第一 かをれ

一 かをれ。ふほへ。そのふらふら。
 二 しまれ。やぐれ。ちぐれのほら。
 三 ま祢け。なびけ。野をらのすき。
 四 なけ。ふてら。かは瀬乃ちぐり。

第二 春山

やまやま。きりぎりす。
 わさやま。あさき。
 はららら。もみぢら。
 春ぬき。さくら。

第三 あがれ

一 あがれ。廣野のひかり。

二 のぼき。川津の若船。

第四 いそ

一 いはへ。きまの代いはる。

二 志げき。うさげの松。

第五 子代り

一 ちよき。子代をきみも。

二 いませ。わが君をきみも。

第六 わが浦

わが浦わが夕志ほみちくれば。
きりのむらさき。あまのつらね。

女
1 アガレ アガレ ヒロノのバのリ
2 の不れ の不れ りはせ のわのゆ

女
1 子ハヘ イハヘ キ三万ヨイハへ
2 しげ れ しげ れ ふたばのこまつ

男
1 子ヨニ 子ヨニ 子言マセキ六
2 いませ いませ わるきみちよに

男
ワカノウムラワニユフシホニチクレタル
キシノムラツルアシベニナキワタル

第七

1 2

ハ あ ル き ハ は ハ つ ナ き ミ み

三 き ヨ ら シ し ノ な オ を ム ゴ 音 ら

1 2

ツ の グ ぞ ヒ の ス 松 キ わ ナ た ケ れ

ツ き メ ぞ サ た ク つ ソ ぞ ノ ら 三 に

第七 春をたえ

一 ちるは。ち那え。
 みと。野。おむる。
 二 阿。帯。を。流。来。み。
 ら。り。那。を。ら。り。

第八 春をたえ

一 う。と。ひ。す。き。那。け。
 う。と。ひ。す。き。那。け。
 二 かわ。の。程。わ。れ。
 霧。の。り。そ。ら。り。

第九

第九 の 歌 の 題 は 子

1 ハ マ ニ ナ ビ ク チ グ サ ハ
2 は ま に あ ま る ま き ご は

ヨ モ ノ タ ミ ノ マ ゴ コ 音
き み め み よ の ろ ず な 王

1 ハ ル カ ゼ ソ ヨ ラ ラ ヤ ヨ ト ノ ア シ タ
2 や よ ひ は の や ま の は な き く さ ろ 王

ア キ カ ゼ ミ ニ シ ム ハ ツ キ ノ ユ ノ ス
は つ き は み そ ら の つ き す む る ち

第九 の 歌 の 題 は 子

一 階 遠 乎。なまびくち。ちとけを。

二 方 乃。民 乃。まろろ。

三 け ま り。あまらる。かまこを。

考 乃。みとろ。かきれり。

第十 春風

一 喜 風。そよよく。やまのあし。

二 弥 生。山 乃。はなはらへん。あ。

三 つきとろ。みとろ。月すむ。おら。

第十一 桜紅花

1 六 ル ニ ユ キ マ セ ヨ シ ノ ク サ タ ラ
 2 よ し の は き く の は な き く み や ま

ア キ テ ッ グ マ セ タ ツ タ ノ モ ミ ア
 た つ た は も み ち の わ せ し く な ろ れ

1 六 ナ サ ク ハ ル ノ ア シ タ ノ ケ シ キ
 2 あ き は ぎ を ば な は な ぎ き み だ れ

カ フ ル ク モ ア タ ツ コ キ チ シ ア
 も と も す ゑ も つ づ み ろ に け ぞ

第十一 桜紅花

一 夢見ふ。ゆきふりせ。花影のる梅。
 あたし。つがもを。花田のみぢ。
 二 よし。野は。はら。花さ。みやま。
 あつ。も。紅。さ。ら。り。く。ち。が。れ。

第十二 花さる春

一 花さる。はら。乃。あた。め。け。た。
 か。さ。る。や。え。も。ま。つ。し。や。う。こ。
 二 花。さ。る。を。か。れ。さ。も。た。れ。し。れ。
 さ。や。ら。ま。え。お。あ。み。や。ら。に。た。り。

♪

三ツ笑え ソカア 名は花 音は空 六ノぼ アオホ こころ事 ヤクダ ナニト アハレ
ハコウ オのめ ザカシ クダラ シラカ コソウ キモチ ミヤ ダダウ ミルカ
ミラ ヤサ ユキ ニコ ハキ ミモ チミ モガ セバ ニの
ハあ ルキ ノの ニに シシ キキ ラカ ゾゼ

♪

第十三 又わ〜せか

一 又わ〜せか。ひをやま。花板。
こたまだ。みやく。そ。
みちも。まろ。綿。をぞ。
きほひ。おろ。おろ。静。し。
ふる。あめ。そ。ゆる。ける。
二 又わ〜せか。やま。で。り。を。
を。へ。そ。ふ。そ。ゆる。え。
う。き。み。ナ。み。ち。ま。ろ。
あ。た。ろ。綿。を。ぞ。あ。つ。び。え。
お。り。采。け。て。ほ。ゆ。あ。り。
は。〜。ける。



第十四 ねの本巻

1. マラ ツメ ノ コ カ ゲ ニ タ チ ヨ レ バ
 2. ラ ム の は な の き き し つ れ ば
 3. チ ト セ ノ ミ ド リ ゾ ミ ニ ハ シ ム
 4. の し ら に は 一 る の ゆ き つ も
 5. ウ メ ガ エ カ ザ シ ニ サ シ ツ レ バ
 6. ツ ー る の け ご ろ も の き ぬ れ ば
 7. ハ ル ノ エ キ コ ソ フ リ カ カ レ
 8. あ き の し も こ そ み に は お け

第十四 ねの本巻

一
 ねろここのげよ。あまのよきだ。
 ちんぎのみにうぞ。身にをむ。
 梅がえかざうに。きつきた。
 ちるのさき。ふふかき。
 二
 うめれさちのさ。けりつきた。
 かいらにま。ゆきはそり。
 踏れけぐるま。かさぬを。
 あたろ。おれおけ。

第十卷

一 五ふやよひの。あけぼる。四
 方にやまぶを。見あゝまむ。
 二 ささぎのあかき。しらももの
 かからぬみほ。なすりあなれ。
 三 新乃あやめも。かをるるあ。
 やまほ。なほ。さけらさあ。
 四 秋乃け。めり。なかりぬきげ。
 ちと。そな。つばき。さむらあ。
 わらよふけ。ゆ。月。うげ。乃。
 か。ぶ。後。さむら。あ。さ。ぼ。ら。け。
 ち。た。ま。山。路。を。ゆ。き。さ。あ。り。
 ころ。に。あ。ま。つ。の。ね。も。
 お。も。ひ。や。る。あ。な。れ。さ。あ。

第十五 まのやまひ

一 五ふやよひの。あけぼる。四
 方にやまぶを。見あゝまむ。
 二 ささぎのあかき。しらももの
 かからぬみほ。なすりあなれ。
 三 新乃あやめも。かをるるあ。
 やまほ。なほ。さけらさあ。
 四 秋乃け。めり。なかりぬきげ。
 ちと。そな。つばき。さむらあ。
 わらよふけ。ゆ。月。うげ。乃。
 か。ぶ。後。さむら。あ。さ。ぼ。ら。け。
 ち。た。ま。山。路。を。ゆ。き。さ。あ。り。
 ころ。に。あ。ま。つ。の。ね。も。
 お。も。ひ。や。る。あ。な。れ。さ。あ。

第十七

探

てふてふ。葉の葉すこすれ。

なれをにあいこら。梅小とすれ。

はららたの。さのゆるは代り。

てまきらあそび。らそよごすれ。

二 おもひ。ねらうれすくえ。

おほひ。ひのひの。ねははら。

ねらうをさ。さ。はら。よこ。

あまら。き。さ。さ。よ。す。め。

第十四

1 アーア アーア チノハニトマレ
2 おきよ おきよ 林ぐらのすずめ

ナノハニ アイタラサ クラニトマレ
あきぬのひあまの さしこぬききに

サシラノハナノサカユル三ヨニ
林ぐらのをいにててこずぬにじまぞ

トマレヨアソベチソベヨトマレ
あそだよすずめ うたあよすずめ

子ヤノーイタードノアケユクソラーニ
子グラライツールーモモヤットリーハ

アサヒノカゲーノーサシーソーメーヌレバ
カスミノウチーニートモヨービーカハシ

ユメミルヲフーモートクオキイデーテ
アサイチスルーミノソノオコタリーラ

ムレツツハナーニーマヒーアーソトブナリ
イサムルサマーナルハルノーアーケボノ

第十九 閨の板戸

ねやのいゝがねあけゆるる。
あき目のかけろけそめぬまを。
ねららさいびふ。百八十をりも。
雲のねらら。友とびうけ。
愛みるこも。いゝおきいで。
むきほく花ふまひあそぶちり。
あさいねする方の。そねおこちを。
いさむらちまねる。春あけがら。

第一
第二
第三

第二十一 第二十一

一 わらわはよのめえはるうちら。武蔵野の。
 二 けみのわくわけてはむ。秋葉の。
 三 なつれ葉それよりこやに。滑る。雪乃ひま。尋ねてはむ。わづれあり。

第二十二 ねむれよ子

一 ねむれよ子。わらわち。ちのみの。
 二 父のねむれよ。ねむれよ子。
 三 母のねむれよ。ねむれよ子。
 四 ねむれよ子。ねむれよ子。
 五 ねむれよ子。ねむれよ子。

第二十三

♪

キミの 三日月 かがり星 手紙 八ッは 月あふ 三日月 二六の 夕方の 夕暮る

ヨハエ 三日月 ササキ だま うれた 一モて 夕のま ぎしつ しのぶ

イハ の ホ る ナ い リ せ ち と

しあ けら ノ は ち め する 一 マ 一 ぞ

♪

第二十三 君の代

一 君の代も。ちよにちちよに。とれ
 いの。舞をなめて。たけのむね
 まで。うごたさる。岩かきけふ。
 かぎりえあ〜。

二 きみとらふ。いふ。君の。夜だ。
 い。これ。橋乃。か。る。磯と。あ。ら。い。る。
 ま。で。か。ぎ。り。ち。よ。に。夕。の。ま。ま。
 ほ。ぎ。さ。ま。ま。ま。つ。ふ。

第十四

思ひにづれ
 思ひにづれ
 思ひにづれ
 思ひにづれ

第二十四 思ひにづれ

一 思ひにづれ。三年のむら。
 かゝらちで。まはせ。たれ。
 いひ。な。の。は。か。
 二 お。た。な。ま。か。た。ひ。ま。
 母。教。す。は。せ。ま。ら。う。ま。ま。
 わ。の。お。ひ。は。ま。ら。う。ま。ま。
 さ。や。い。つ。う。え。の。ま。ま。
 三 い。ふ。べ。な。ま。ま。ま。ま。ま。
 お。よ。び。を。あ。つ。母。ま。ら。う。ま。ま。
 わ。の。お。ひ。は。ま。ら。う。ま。ま。
 さ。や。い。つ。か。え。の。ま。ま。
 四 お。ま。ら。う。ま。ま。ま。ま。ま。
 い。ふ。べ。な。ま。ま。ま。ま。ま。
 父。ま。ら。う。ま。ま。ま。ま。ま。
 さ。や。く。は。ら。う。ま。ま。ま。ま。ま。

第二十五

1 カヲリニシラルルハナサクミソノ
 2 つきあげてせふのなりのしみづ

カスミニカクルルトリナクハヤシ
 モみちばにホるトヤまのふもど

キミガヨイハヒテイクハルマデモ
 三みガヨイハヒテイクハルマデモ

カヲレヤカヲレヤウナハヤウタハ
 カヲレヤカヲレヤウナハヤウタハ

第二十五

鶴にきらるる

一 かわりにきらるる。花さく清園。

歳小かくる。きたくはやく。

君が代いさむして。幾時までえ。

糸をきや。うらやう。

二 つたうげてりそ。野の清水。

ゆみぢらぶふほ。かしのう。

さみぐ代えせ。いく秋。

うらやう。にやにや。

第六

一 すすぶがはらのあさぼらけ。
 雪をこすみそをこすちり。
 水のまじり。ふねをけて。
 花をあそびむちりぬきり。

二 河内川あめ。あたら夜を。
 水そみそをすすみあくる。
 うせのまま。ふゆけて。
 月を。あそびん。おもすけら。

三 すすぶがはらのあゆみそら。
 よろ白ゆき。うきとわて。
 おくろおとど。をなせたぬ。
 いそよあそびん。ゆき。

第二十六 河内川

一 すすぶがはらのあさぼらけ。
 雪をこすみそをこすちり。
 水のまじり。ふねをけて。
 花をあそびむちりぬきり。

二 河内川あめ。あたら夜を。
 水そみそをすすみあくる。
 うせのまま。ふゆけて。
 月を。あそびん。おもすけら。

三 すすぶがはらのあゆみそら。
 よろ白ゆき。うきとわて。
 おくろおとど。をなせたぬ。
 いそよあそびん。ゆき。

第二十七 富士山

1 フモトニクモゾカカリケル タカ子ニユキゾ
 2 どつくにびどもあふぐなま おおぐにびども

ツモリタル ハダへハユキコロモハクモ
 和こるなま てるひのあ げそのゆくつき

ソノユキノモヲヨソビタル フジテフヤマノ
 つきひとどもに あがやきて ふしてふやまの

三ワタシニシクモノモナシニルモナシ
 みわたしに しくもの もなし にるもなし

第二十七 富士山

一 ふそやにやぞ。あつまける。
 高家^{たかね}のゆきぞ。つそあたる。
 けいへき雪^{ゆき}たるをほくそ。
 そのゆたなむをよそひる。
 ふそやものえあつて。
 一のそを。

二 外國^{とくに}人^{ひと}え。あふぐちあ。
 わがくに人もほくらたあ。
 照る日^ひのげ。そらゆつた。
 ほたひとやそにかがわたて。
 富士^{ふじ}てふ山^{やま}をみわして。
 一のそを。

第九

1 2

アミタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ

アミタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ

カミタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ

タタタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ ンタ

第二十九

雨夜

一 雨夜に。おふくや。あまは。あまは。あまは。

みめぐらに。民草は。うるほひひけり。

かてて。今世を。かたのくさ。

みまに。いも。いも。いも。いも。いも。いも。

二 飢え。うらえ。ちた。うら。民。やあつた。

身。に。い。て。か。い。く。お。お。え。ほ。き。あ。り。

あ。ら。ま。う。う。の。夜。よ。あ。ま。い。た。う。い。せ。ら。

大。陸。の。の。ら。い。よ。の。ほ。ら。ら。あ。い。せ。

第三十

玉の窟居 (Tama no Iruya)

メマ アヒ テテ ハギキ アレキ アハ ハの 井む ヤぎ 三よ の マゆ タふ 一

ド里 ケレハ ケルシ シキ トを イみ ハを サセ ユゼ ツる サへる サモ

ハタツネ ハに ヒる ハこ ニみ ノナ ドモ カお ノを ミタ タ

ルシ ケハ ニマ レタ ハセ ラの アぬ ー ゴや ニも フリル ケみ

第三十 玉の窟居

一 玉の窟居やわらわ。あそびをそと。
 雨さへあそびさへい。いそぎぐれど。
 民乃かまごの。にぎはひを。
 きつう^{きつう} 烟^{けむり}もぞあ。いそぎよなる。
 二 冬乃春さむの。月さえて。
 疎^{ひそ}りうせさへ。あそびをさる。
 民をおほほほ。みこころ。
 大^{おほ}衣^{ころも}やぬ。みこころ。

第三十一 大和撫子

1 ヤ マ ト ナ デ シ コ サ マ サ マ ニ
 2 の ぞ の ち べ ぎ の い ろ い ろ じ
 オ ノ ガ ム キ ム キ サ キ ヌ ト モ
 オ の ろ き ま ぎ ま ぎ き ぬ ど も
 オー ホ シ タ テ テ シ チ ナ ハ ハ ノ
 オー ほ し た て て し あ め つ ち の
 ニ ハ ノ ラ シ ヘ ニ タ ガ フ ナ ヨ
 つ め の め ズ み を わ ナ る な び

第三十一 大和撫子

一 やまのなでしこ
 おれがむきくさね
 おかへてあつし。ちけり。
 なををへに。たごふたご。
 二 野をのこ草花いろよ。
 おれがむきくさね。
 おかへてあつし。あめはちり。
 はちけり。あつしたご。

4カ三ノカクセルヒメコトモ
5つきひととーもにあのつちの

サトリエラルルサマミレバ
めぐまたおはぬまみれば

チトイフモノハヨノナカノ
しむてふものはよのなあの

ヒトノココロノタカラナリ
いとのかこののたまもせなれ

同續き

四 非乃 秘 事 矣。
 非 乃 秘 事 矣。
 智とひふそろを。世の中の。
 人此ろえの。憂ぢり。

五 月 日 共 小。あ 是 け ち 乃。
 循 環 多 岐 乃。さ ま 又 きた。
 信 じ ぬ 事 乃。せ 乃 中 乃。
 人 此 ろ え の。守 乃 乃。

Musical score for 'Wagon Song' (五輪の歌). It consists of three staves of music in 4/4 time. The lyrics are written in katakana below the notes.

フ シ シン アー リ ク シン キ ア リ
 フ フ ベ ツ ア リ
 チ ヲ エ ウ ショ アー リ ホ ヲ イ シン アー リ

第三十三
 五輪の歌

父子親あり。君臣義あり。
 夫婦別あり。長幼序あり。
 朋友信あり。

明治十四年十一月出版届

K1107
文部省藏版々權所有

明治十四年十一月
廿四日出版権届

學小

唱歌集

學小
唱歌集
第二編